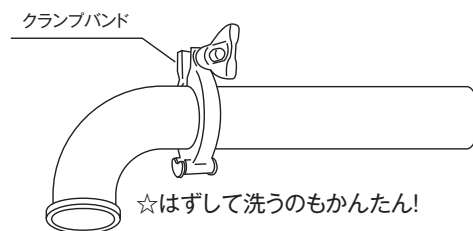
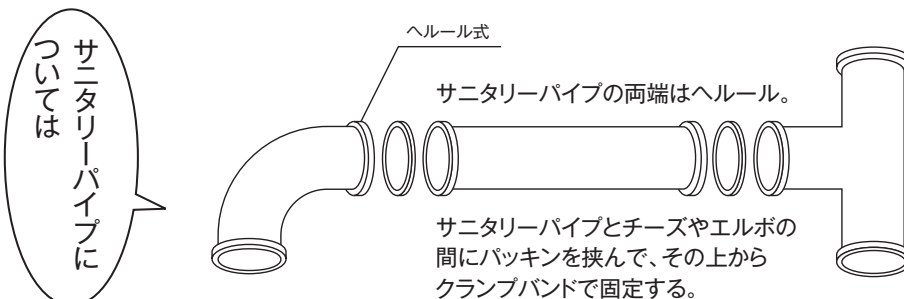
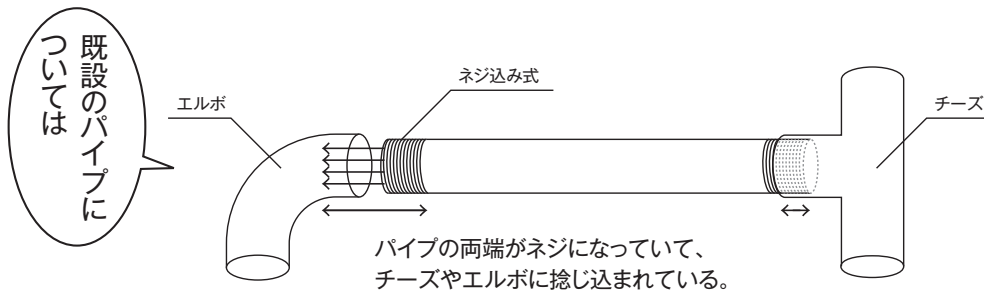


両端ヘルール付直管(サニタリーパイプ)の注文手順

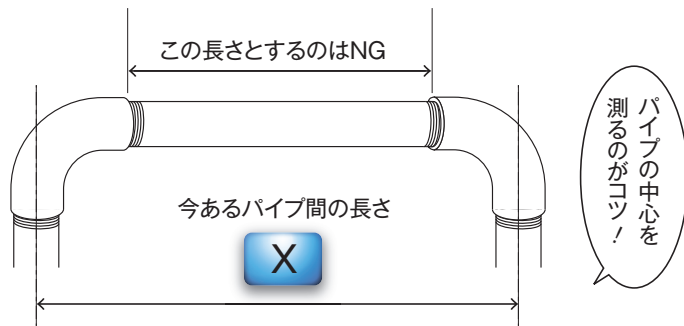
- ① 今あるパイプ間の長さを測る ————— **X**
 - ② 既設の役物を(使う場合は)測る ————— **B**
 - ③ 新しくつなぎたい役物の長さを確認 ————— **A** の長さ一覧表
 - ④ 必要なパッキンの個数を確認 ————— パッキン 1コ 2mm
 - ⑤ 両端ヘルール付直管の長さを計算する ————— **両端ヘルール付直管** の長さ
- $$\boxed{X} - \boxed{B} - \boxed{A} - \boxed{\text{パッキン}} = \boxed{\text{両端ヘルール付直管の長さ}}$$
- ⑥ 注文書に **両端ヘルール付直管** の長さと本数を記入する
 - ⑦ 注文書に必要な役物の個数を記入する



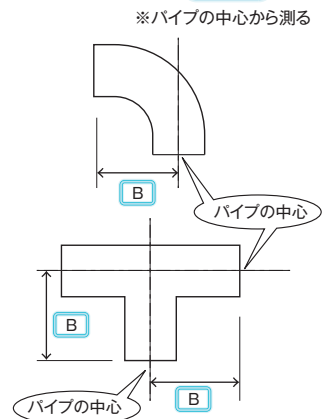
つなぎ方が違つので、長さも違うんじや。正確にパイプの長さを注文するためには **今あるパイプから算出する方法** での計算が必須です

今ある配管から算出する方法

1 今あるパイプ間の長さ **X** を測る



2 既設の役物の長さ **B** を測る

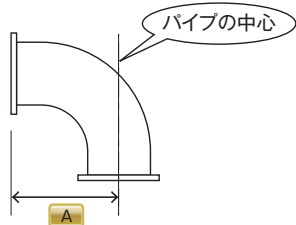


3 新しくつなぎたい役物の長さ **A** を確認する

A

エルボ

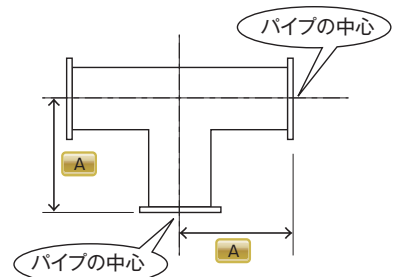
1S …55mm
1.5S …70mm
2S …82mm



A

チーズ

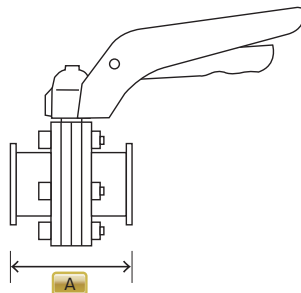
1S …55mm
1.5S …70mm
2S …82mm



A

バタフライバルブ

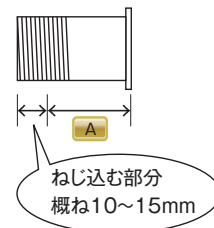
1S …65mm
1.5S …73mm
2S …73mm



A

ネジアダプター

1S → 25A … 50mm
1.5S → 40A … 53mm
2S → 50A … 55mm



4 必要な **パッキン** の個数を確認する

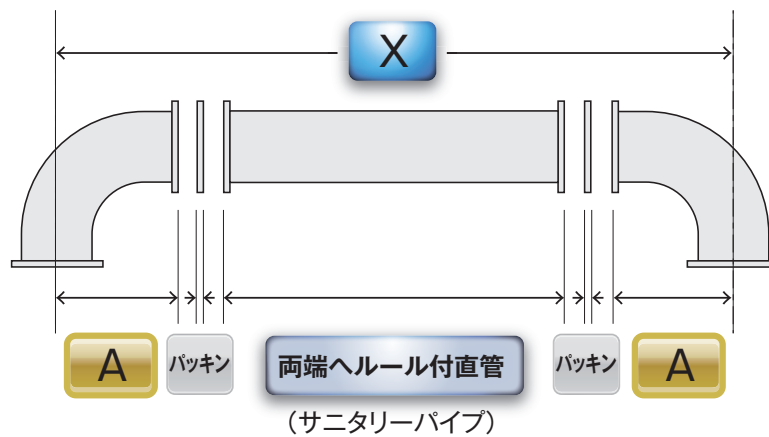
パッキン 1個 2mmとする

5 必要な **両端ヘルール付直管** の長さを計算する

下記の例を参考に

例 -1

既設のパイプとエルボを、サニタリーパイプとエルボに交換する場合



$$X - A \times 2 - \text{パッキン } 2\text{mm} \times 2 = \text{両端ヘルール付直管の長さ}$$

必要な注文リスト

両端ヘルール付直管

1本

A

エルボ×2コ

パッキン

×2コ

クランプ
バンド

×2コ

演習問題

1.5Sのパイプ、X が1,000mmの時

レベル★

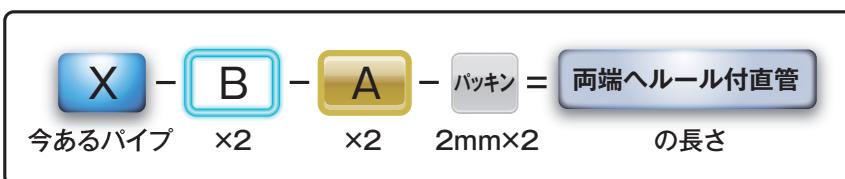
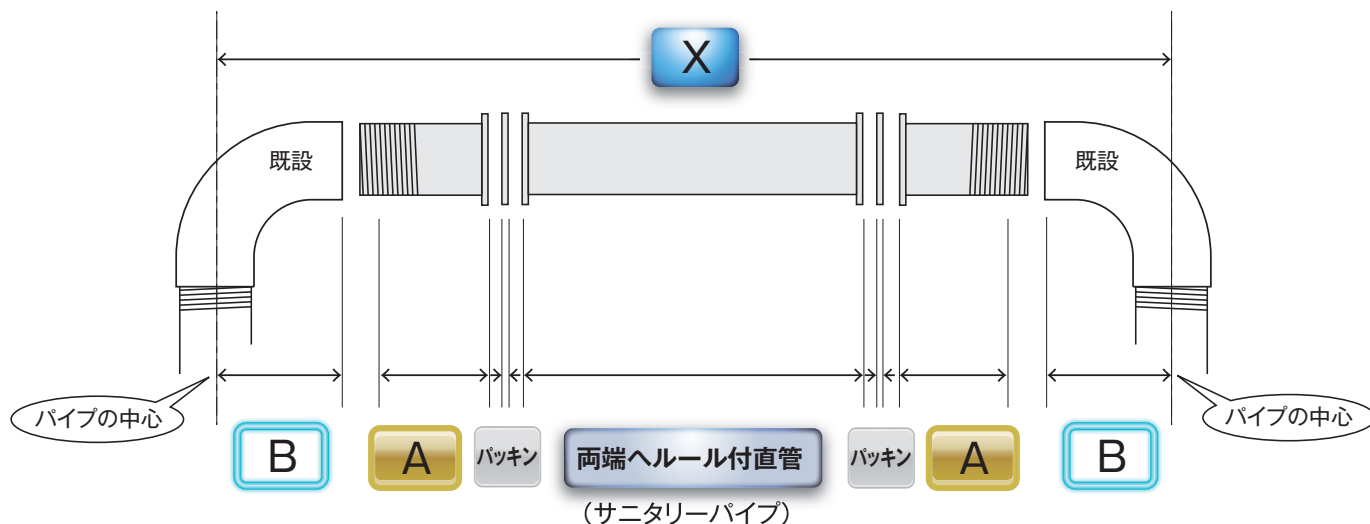
$$X \text{ 1,000mm} - A \text{ 70mm} \times 2 - \text{パッキン } 2\text{mm} \times 2 \text{ 枚} = \text{両端ヘルール付直管 } 856\text{mm}$$

注文する

両端ヘルール付直管 の
長さは **856mm** !

例 - 2

既設のエルボを使って、サニタリーパイプに交換する場合



必要な注文リスト



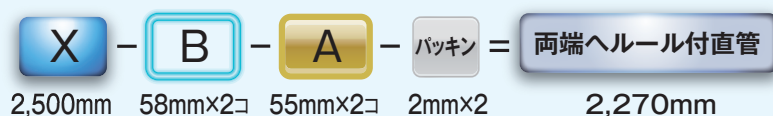
演習問題

2Sのパイプ、**X** が 2,500mmの時

レベル★★

(50Aのネジ込継手から交換)

58mm

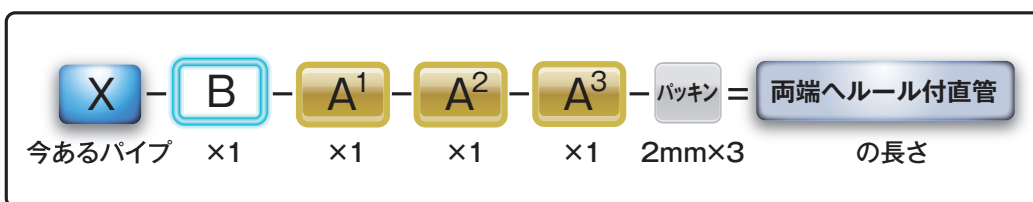
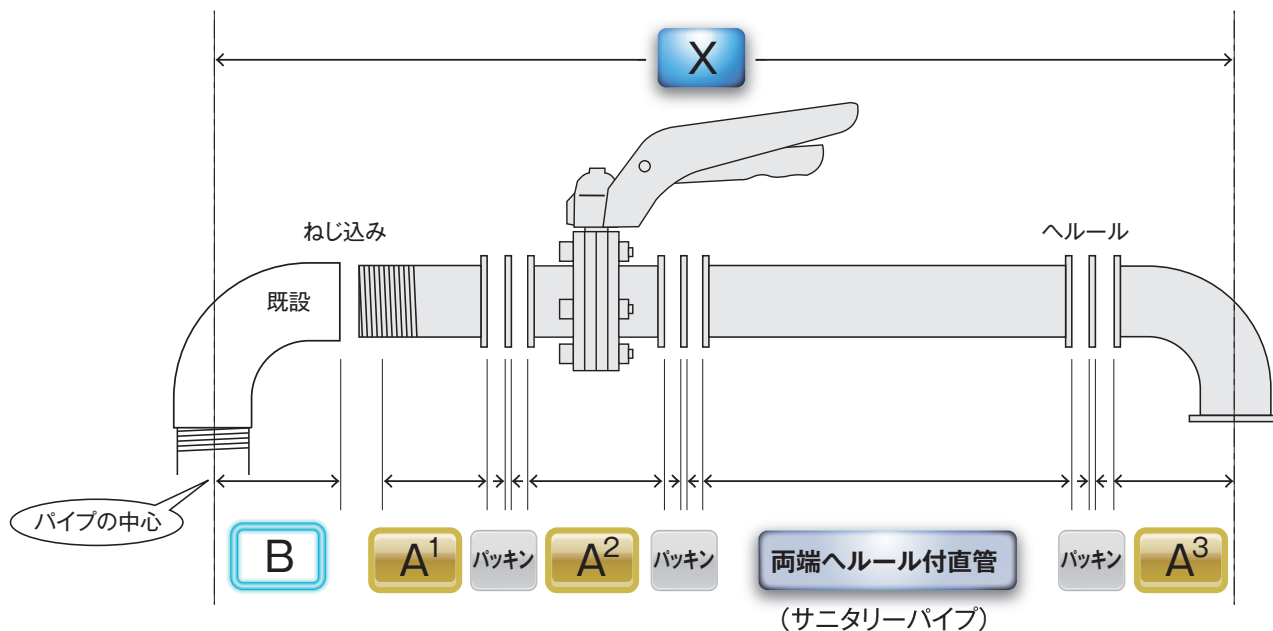


注文する 両端ヘルール付直管 の
長さは **2,270mm!**

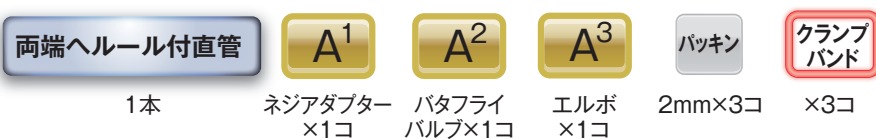
B も忘れずに引くのが
ポイントです

例 - 3 (応用編)

片方の既設エルボを残し、それ以外サニタリーに交換する場合



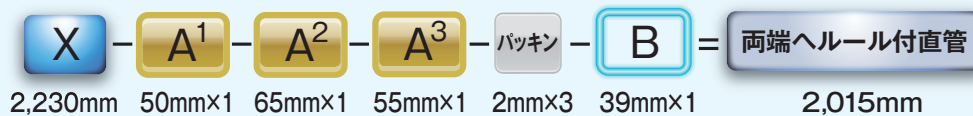
必要な注文リスト



演習問題

1Sのパイプ、X が2,230mmの時
レベル ★★★★★ (25Aのネジ込継手 から交換)

39mm



注文する 両端ヘルール付直管 の
長さは **2,015mm** !

役物がいっぱいある時は、
一呼吸置いて、落ち着いて確認!